

2019年9月期第2四半期決算

2019年5月8日

 株式会社三菱総合研究所

1. 2019年9月期第2四半期決算

2. 2019年9月期業績予想

3. 中期経営計画2020の進捗

2019年9月期 第2四半期のまとめ

売上高： 459億円 前同比 \triangle 5.6億円 (\triangle 1.2%)

- シンクタンク・コンサルティングサービス (TTC) は増収も、ITサービス (ITS) 減収から、概ね前年同期並み

経常利益： 39.9億円 前同比 \triangle 6.6億円 (\triangle 14.4%)

- TTC増益を上回るITS減益
- (課題案件影響を除けば) 概ね前年同期並み (P6参照)

純利益： 28.2億円 前同比 \triangle 1.1億円 (\triangle 4.0%)

- 特別利益計上 (政策保有株式売却)

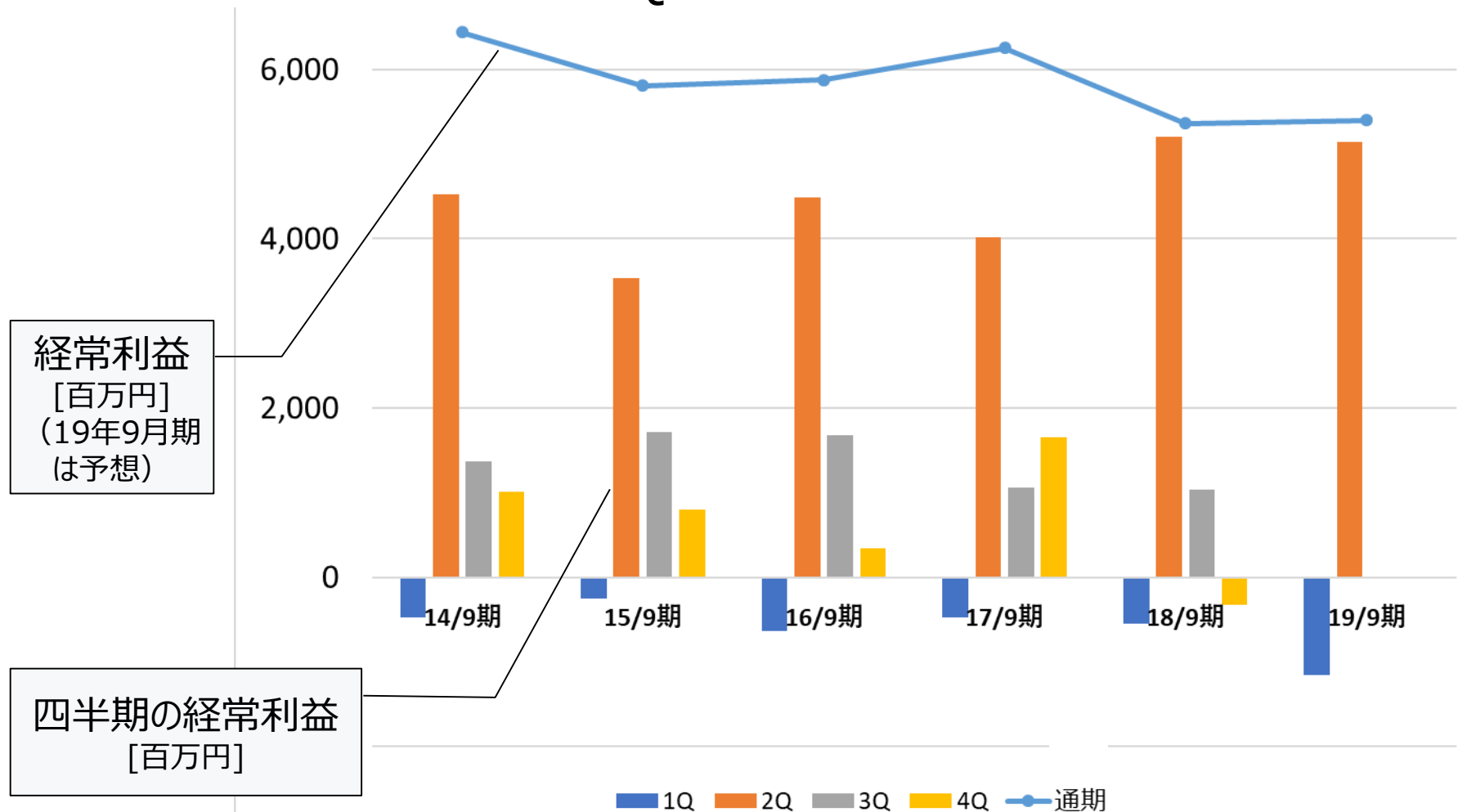
第2四半期連結決算 <前同比>

(百万円)

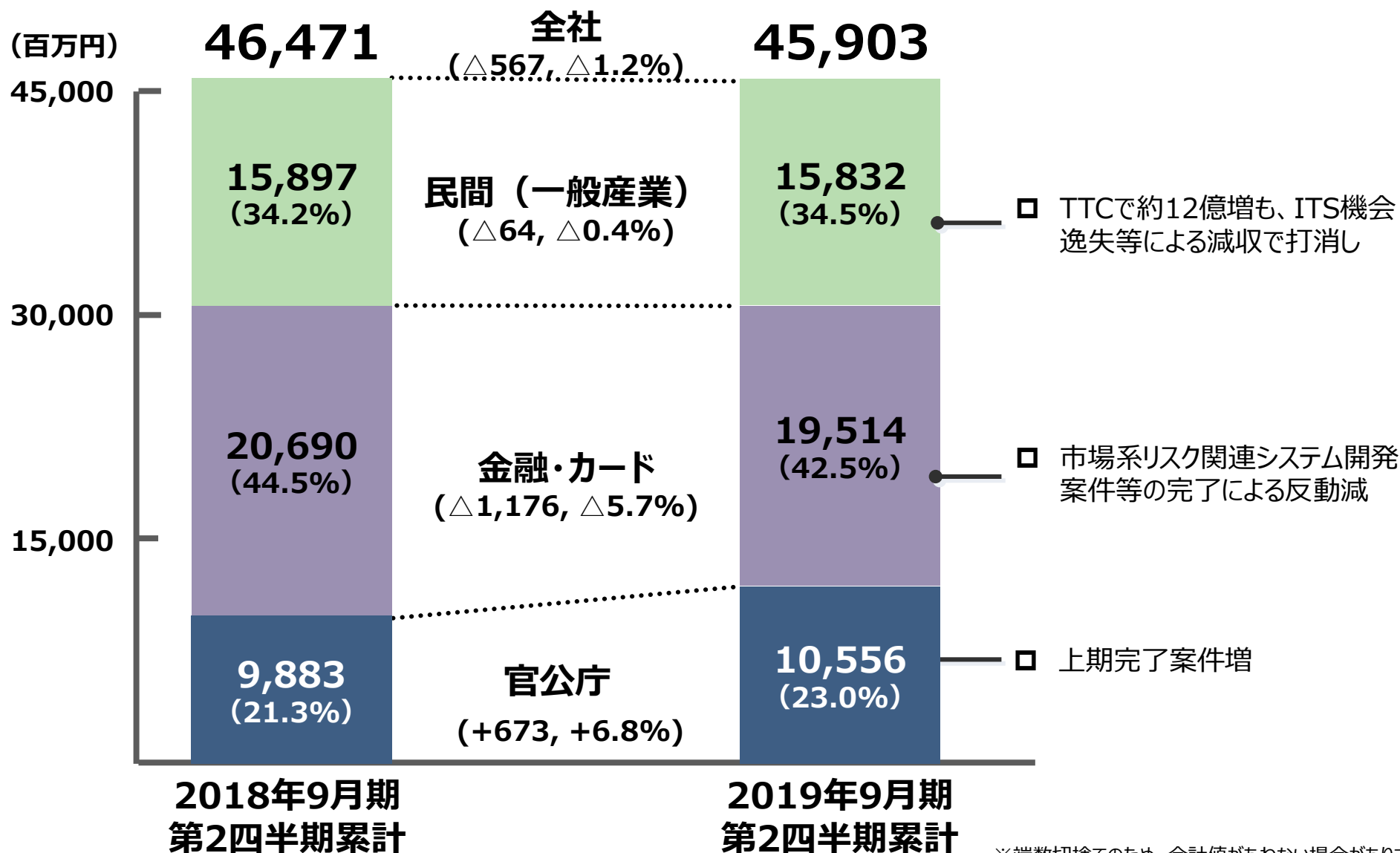
	2018年9月期 2Q累計	2019年9月期 2Q累計	前同比	
			増減額	増減率
売上高	46,471	45,903	△567	△1.2%
売上総利益	11,687	10,778	△908	△7.8%
売上総利益率	25.1%	23.5%	△1.6 P	
販売費及び一般管理費	7,107	7,045	△61	△0.9%
営業利益	4,580	3,733	△847	△18.5%
営業利益率	9.9%	8.1%	△1.8 P	
経常利益	4,663	3,993	△669	△14.4%
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,942	2,823	△119	△4.0%
1株当たり四半期純利益 (円)	181.12	173.79	△7.33	

参考) 四半期別経常利益の推移

- 19/9期 2Qは、前期 2Q並みの経常利益
- 季節要因に伴う売上・利益の2Q集中傾向は継続



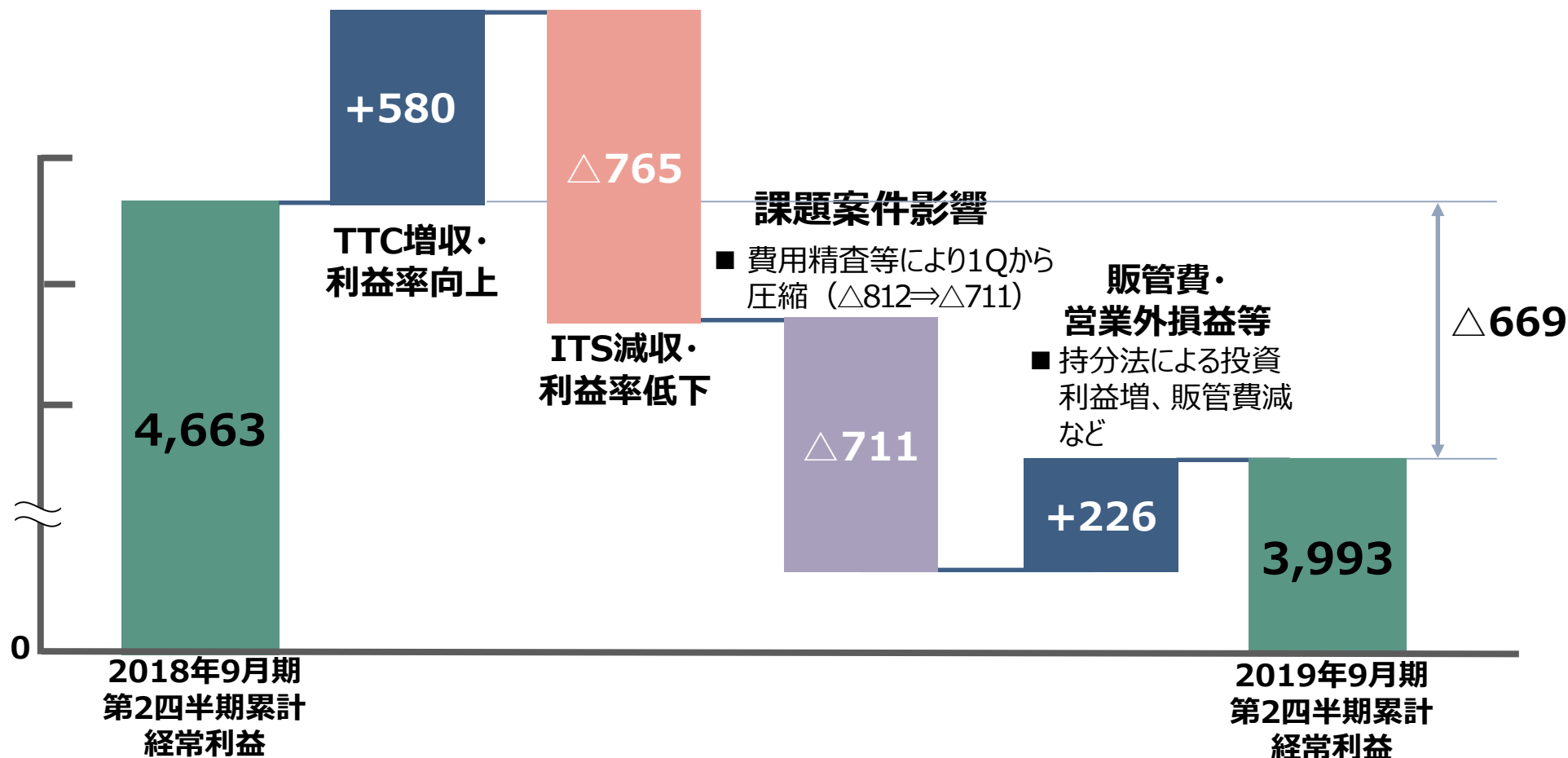
顧客業種別売上高 <前同比>



※端数切捨てのため、合計値があわない場合があります
この資料は、投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたもので、
投資勧誘を目的として作成したものではありません。

経常利益の変動要因 <前同比>

- 前同比減 (△669) は、ほぼ課題案件影響分 (△711 : 1Qから1億円圧縮)



※端数切捨てのため、合計値があわない場合があります

シンクタンク・コンサルティングサービス (TTC)

(百万円)

	2018年9月期 2Q累計	2019年9月期 2Q累計	前同比	
			増減額	増減率
売上高	16,400	17,768	+1,367	+8.3%
営業利益	2,353	2,849	+496	+21.1%
営業利益率	14.3%	16.0%	+1.7P	
経常利益	2,328	2,969	+641	+27.5%
受注高	18,049	16,258	△1,790	△9.9%
受注残高	24,682	23,490	△1,191	△4.8%

主なポイント

- 民間案件・新事業（ストック型）の案件増、上期完了の官公庁案件増による増収
- 官公庁、民間ともに増益
- 上期完了案件増に伴い受注残高減少も、選別受注の成果が顕在化（利益率改善）

※端数切捨てのため、合計値があわない場合があります
この資料は、投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたもので、
投資勧誘を目的として作成したものではありません。

ITサービス (ITS)

(百万円)

	2018年9月期 2Q累計	2019年9月期 2Q累計	前同比	
			増減額	増減率
売上高	30,070	28,135	△1,934	△6.4%
営業利益	2,181	871	△1,309	△60.0%
営業利益率	7.3%	3.1%	△4.2P	
経常利益	2,289	1,013	△1,276	△55.8%
受注高	28,120	28,332	+211	+0.8%
受注残高	34,316	36,674	+2,357	+6.9%

主なポイント

- 前期発生 of 課題案件 (大型システム開発) を受けた機会逸失等により減収
- 課題案件の損失影響 (1Q引当分*) および売上減により減益
- 新サービス・分野やアウトソーシング中心に受注残高は順調 (前同比+23億のうち15億は来期売上)

* 課題案件に伴う引当金残高は、1,164百万円

※端数切捨てのため、合計値があわない場合があります
この資料は、投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたもので、
投資勧誘を目的として作成したものではありません。

1. 2019年9月期第2四半期決算

2. 2019年9月期業績予想

3. 中期経営計画2020の進捗

2019年9月期 連結業績予想

前回(2018/10/30)予想から修正

通期業績予想を下方修正（増収増益は維持）

売上高予想：910億円 前回予想比 \triangle 30億円

□ ITS \triangle 30億：下期受注状況を受けた売上減

経常利益予想：54億円 前回予想比 \triangle 10億円

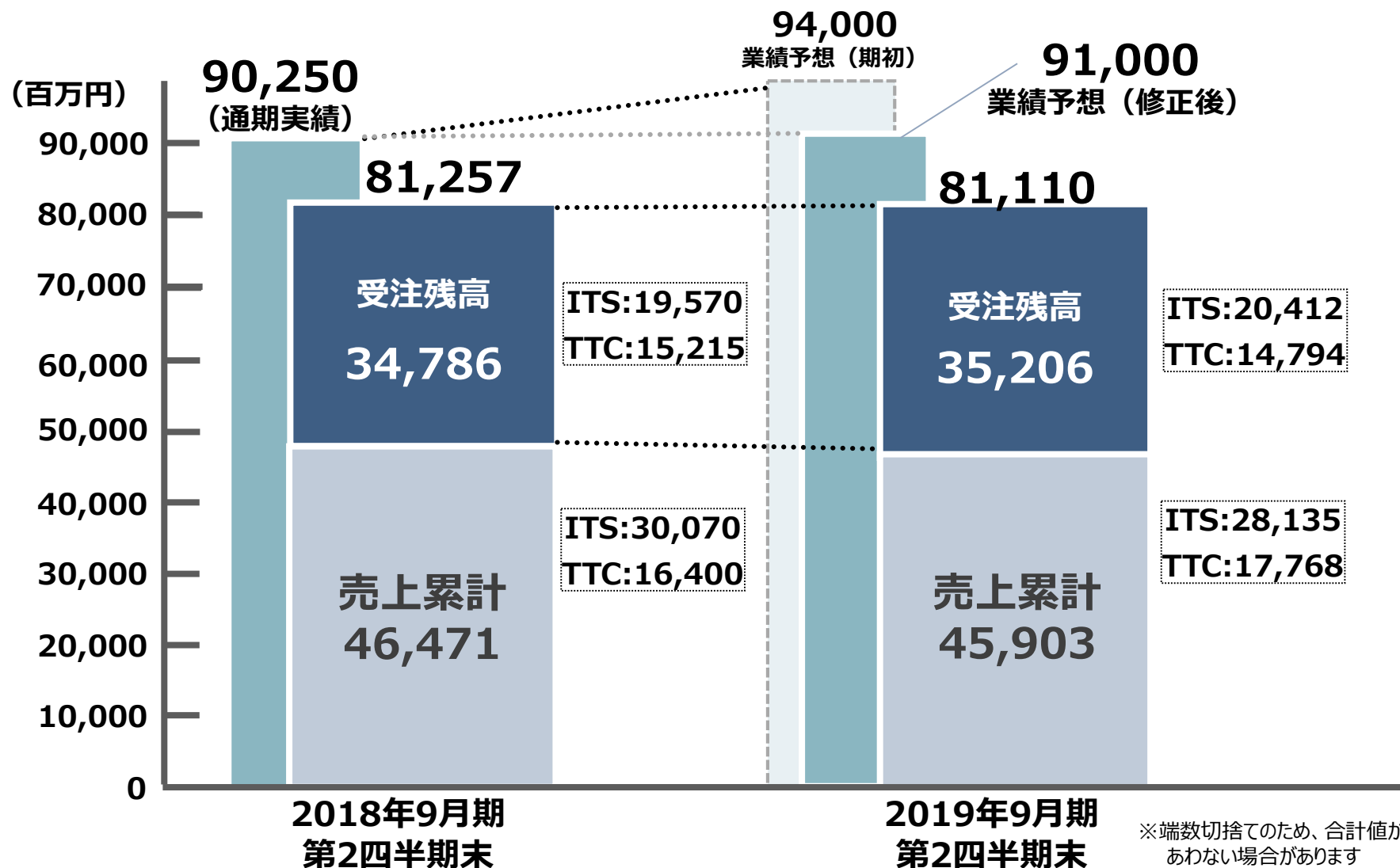
□ TTC +2億：上期好調を維持

□ ITS \triangle 12億：課題案件による損失影響および売上減に伴う利益減

当期純利益予想：35億円 前回予想比 \triangle 4億円

売上＋受注残高（今期売上分）

- 売上累計＋受注残高の状況から、業績予想を修正



2019年9月期 連結業績予想

前回(2018/10/30)予想から修正

(百万円)

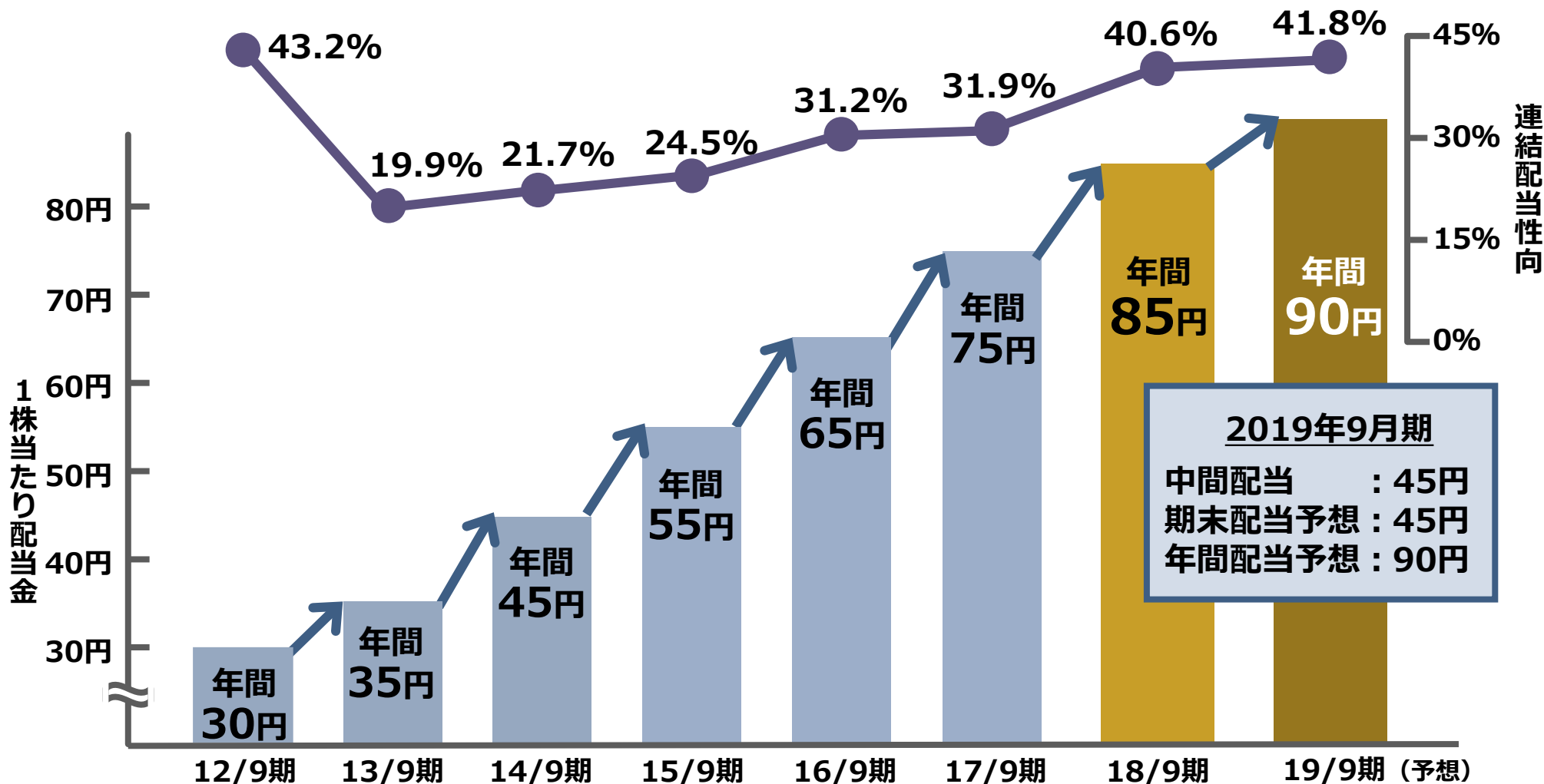
	18年9月期 実績	19年9月期 今回予想	前同比		前回予想 18/10/30	前回 予想比
			増減額	増減率		
売上高	90,250	91,000	+749	+0.8%	94,000	△3,000
シンクタンク・コンサルティングサービス	33,489	35,000	+1,510	+4.5%	35,000	—
ITサービス	56,760	56,000	△760	△1.3%	59,000	△3,000
営業利益	4,963	5,000	+36	+0.7%	6,000	△1,000
営業利益率	5.5%	5.5%	△0.0P		6.4%	△0.9P
経常利益	5,364	5,400	+35	+0.7%	6,400	△1,000
シンクタンク・コンサルティングサービス	3,233	3,300	+66	+2.1%	3,100	+200
ITサービス	2,050	2,100	+49	+2.4%	3,300	△1,200
親会社株主に帰属する当期純利益	3,402	3,500	+97	+2.9%	3,900	△400
1株当たり当期純利益 (円)	209.46	215.44	+5.98	+2.9%	240.06	△24.62

※端数切捨てのため、合計値があわない場合があります
この資料は、投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたもので、
投資勧誘を目的として作成したものではありません。

2019年9月期 配当予想

配当方針

安定的な配当を継続的に行いながら、業績や財務健全性のバランス等も総合的に勘案しつつ、配当水準の引き上げを目指す



1. 2019年9月期第2四半期決算

2. 2019年9月期業績予想

3. 中期経営計画2020の進捗

三大改革の進捗状況

(1) 事業ポートフォリオ改革

- TTC官民共創ソリューションの成果、プロジェクト大型化進捗
- △ 成長事業における人財拡充が新たな課題

(2) ビジネスモデル改革

- サービスインした新事業（ストック型）の収益化、アイネス等との協業が進展
- 新事業加速に向け専任組織立ち上げ
- △ ICT成長戦略の見直しが新たな課題

(3) 働き方改革

- 新しい人事制度スタート（複線型キャリア、シニア活躍、副業等）
- 事業ポートフォリオ改革効果による就業時間縮減・平準化
- △ 新制度やICTツールを活用した多様な働き方、モチベーション向上、生産性向上が課題

課題案件対応・再発防止について

課題案件の個別対応

- お客様と協議継続、段階開発に着手
- 引当金として 11.6億円計上済

再発防止策の策定・実施

- 社内委員会により総括実施（社外弁護士・IT専門家が参加）
- 委員会報告をふまえた再発防止策は一部済、今後さらに取り組み
 - プロジェクト管理やグループ経営・ガバナンスなど緊急／短・中期施策を順次実施

● 官民共創ソリューション事業

□ 政策起点の「重点分野」×「業界」アプローチで好調維持



■ 実績例

ヘルスケア・
ウェルネス

×

情報・通信

情報・通信
A社

人生100年時代の
新ビジネス

- シニアのスキルを地域で活かすIoT利用の新事業を検討



食・農

×

エネルギー

エネルギー
B社

農業新ビジネス検討

- 生産性向上を目指し、自社資源を活かした新事業展開を検討



● 新事業（ストック型）

□ 新事業（ストック型）の収益化進展

商品群

パートナー

実績

HR-Tech

採用エントリーシート診断サービス
(PRaiO)

<https://praio.jp/>

マイナビ

18/9期

55社

19/9期

73社

Energy-Tech

卸電力取引向けオンラインサービス

<https://www.mpx-web.jp/>

KYOS
(欧)

33社

41社

Region-Tech

インテリジェント自治体 (AIスタッフ)

<https://aistaff.mri.co.jp/>

INES
JBS

開発・実証
段階

導入 2団体
試行 14団体

トピックス

Chaintopeと「ブロックチェーン技術を活用した基盤・サービス等」の開発検討で合意（2/8リリース）

- 社会インフラとしてのブロックチェーン技術の定着と、そこに蓄積されたデータを活用したデータ駆動型社会の実現を目指す
- 9月までに具体的な技術基盤・サービス内容を固め、業務提携を目指す

www.mri.co.jp/news/press/public_office/028498.html

シマントとデータ分析サービスの開発検討で合意（3/18リリース）

- データ活用戦略策定、データ活用の環境整備などを組み合わせたサービス
- 6月までにサービス内容を固め、業務提携を目指す

www.mri.co.jp/news/press/public_office/028549.html

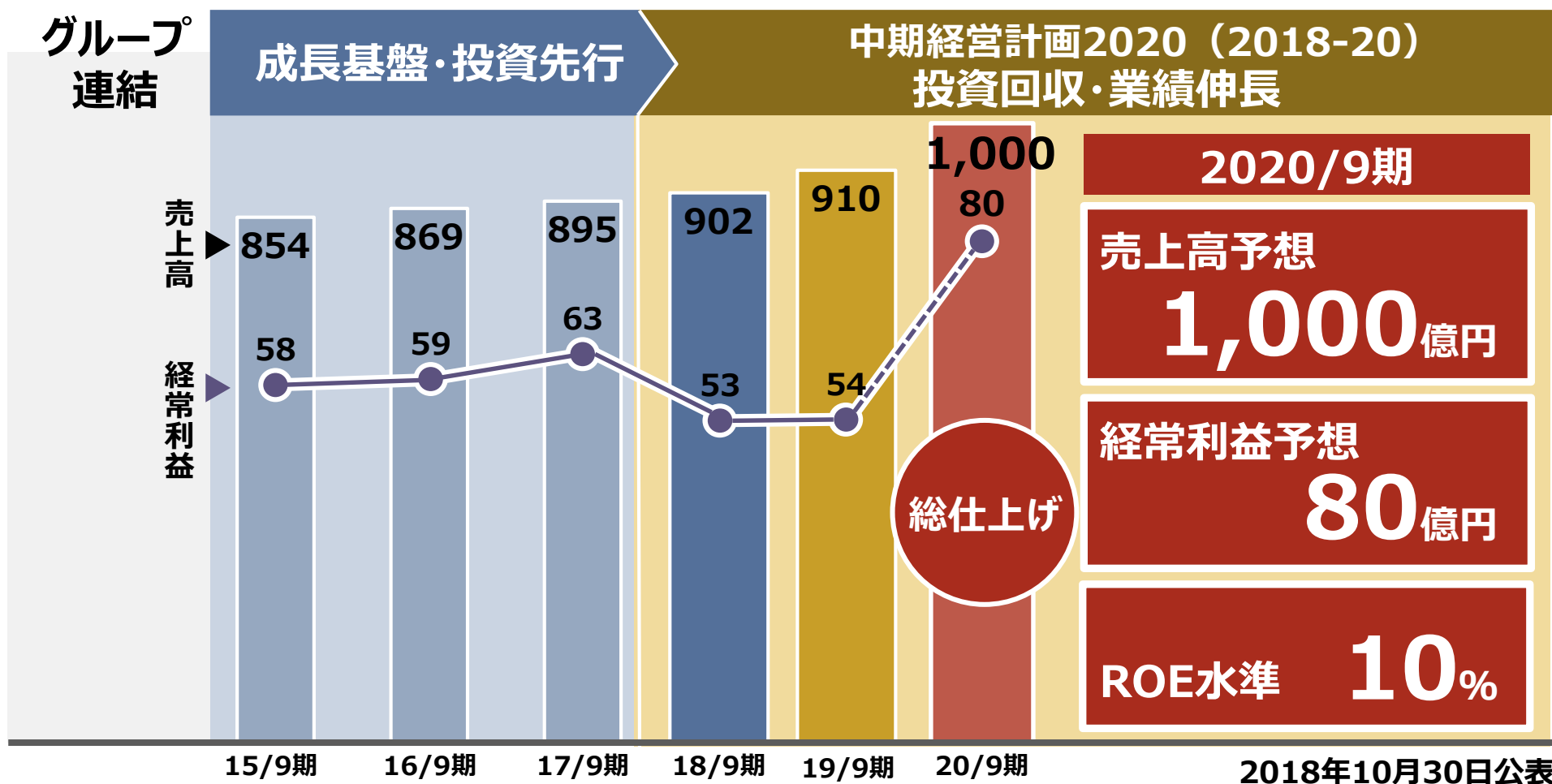
三菱総研DCS、AIを活用したビジネスマッチング支援（3/29リリース）

- 三菱UFJ銀行がお取引先企業を紹介する「ビジネスマッチング」のサービスで、AIで迅速かつ的確にパートナーを選定
- DCS独自のクラウド型対話AIエンジン「Hitomean（ヒトミン）」を活用

www.dcs.co.jp/history/news/2019/190329.html

2020年財務目標

20年度目標に向け取り組みを強化



将来の見通しに関する注意事項

この資料は、将来の見通しに関する記述を含んでいます。予想値を含めこれら将来の見通しに関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいた当社の判断によるものです。

こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、予測困難なリスクや不確実性を内包するものです。したがって、実際の業績等は、これら種々の要因によって見通しと異なる結果となることがあります。

当社は、将来の事象や新たな情報等を反映して、将来の見通しに関する記述を更新したり改訂したりする義務を負いません。



株式会社三菱総合研究所

経営企画部 IR室

TEL	: 03-6705-6001
FAX	: 03-5157-2167
E-mail	: ir-info@ml.mri.co.jp
URL	: www.mri.co.jp